



Q 県の「歴史の道景観モデル地区」の今後と町の対応は。

A 都市政策課長 県の景観モデル地区事業は今年度で終了しますが、この取組は町の魅力創出の可能性を持ち、非常に有益であると捉えています。今後も引き続き、県やNPO法人の協力をいただきながら、景観まちづくりの活動を継続していきます。

Q 歴史的建造物の「和紙体験学習センター」の保存活用を。

A 生涯学習課長 当施設は、昭和初期の建物の様子を伝える全国的にも貴重なものです。令和元年に策定した「産業文化の拠点」として位置づけ、職人の後継者育成・和紙を活用した製品の開発等を進めて



公民館活動と連携した住民との町歩き

町の景観
たなかてるこ
田中照子議員
が町に問う！

モーテル地区
終了後の取組は
答弁 景観まちづくりの活動を継続します

Q 「新しいチャレンジができる町」としてお店が増えしていく流れを止めないために、どのようなことができるか。

A にぎわい創出課長 令和5年度当初予算において、空き店舗活用補助金の増額と、対象エリアや職種の拡大を提案しました。また、今までの例として、人と人のつながりの中で事業が発生していることから、情報交換や交流の場として、NESTOや旧上野台中学校のワークスペースを有効活用して事業が継続するためにも、何が重要と捉えています。

Q 事業の継続には稼げる地域が必要な支援を



新しい挑戦で明るくなった駅前通り

稼げる地域
いがらしやすひろ
五十嵐康博議員
が町に問う！

事業の継続に必要な支援を行います
答弁 意見交換を行い

に重要だと考えています。そのためには町への人の流れや、お客様の流れをつくることが大切です。また従来から事業をしている方と意見交換をしながら、皆さんが何を求めるのかを注意深く探っています。

つづく！

免疫力をアップするために、長風呂、早寝早起きを実行します。
(H・Mさん 68歳)

私は感染はしないと思って、最初から対策はしておりません。
(F・Mさん 72歳)

Q 性的少数者など、LGBTQのカツブールを公的に認めるパートナーシップ制度は、県内市町で導入が進んでいるが、当町の進捗は。

A 総務課長 パートナーシップ制度を有効に運用し、制度利用者の利便性を高めるためには、広域で取り組むことが望ましいと考えています。比企地域で連携した導入に向け、検討を進めています。

Q 制度実施に向け、当町も準備を進めていると理解した。実施時期はいつになるのか。

A 総務課長 令和5年度のできるだけ早い時期に実施できるよう取り組みます。

※令和5年4月1日から制度開始実施された際、LGBTQは当事者にどのようなメリットがあるのか。

A 総務課長 行政サービスは、所得課税証明書や納税証明書の交付、公営住宅へ家族として入居、公立保育園や学童保育の保護者としての送迎などが考えられます。そのほか、医療機関等における各種手続等で、親族と同様の対応が可能になります。広域連携が行わることにより、当事者の申請手続負担等も軽減されます。

Q 令和4年度の森林環境譲与税は主に何に使われたのか。

A 環境農林課長 木材普及啓発活動として、保育施設に町産材を活用した積み木を贈呈しました。また、小規模林業者への支援事業、未活用の資金は「森林環境基金」に積立てています。

Q 比企地域の農業用ため池農法が「日本農業遺産」に認定されたが、森林環境譲与税を今後の活動に活用できないか。

A 環境農林課長 ため池や谷津田の整備は「日本型直接支払い制度」を活用し、支援していきたいと考えています。

Q 里山や森林の維持管理活動に限らず、地域の有志がボランティア団体を立ち上げ、地域課題の解決に向けて活動を続け成果を上げています。

A 町長 「アクティブラシニア」と呼ばれる皆さんのがいろいろなボランティア活動を行い、地域に貢献できないのか。

ボランティア団体を積極的に応援しているが、町はこうした自主的な活動として、地域に貢献しています。現在、こうした団体の支援策について「検討チーム」を立ち上げ、具体的な検討を始めました。

Q 荒れた里山の再生に挑むボランティア

まだ心配なので、マスクとアルコール消毒は続けます。
(I・Yさん 72歳)

感染は心配ですが久しぶりの花見で盛り上がりました。
(Y・Sさん 78歳)

LGBTQ
たかはし
高橋さゆり議員
が町に問う！

パートナーシップ制度導入は導入に向け検討中です
答弁 比企地域連携で

地域の力
たかはしさお
高橋功人議員
が町に問う！

地域のボランティアに応援を
立上げました
答弁 「検討チーム」を

地域のボランティアで応援を立上げました
答弁 「検討チーム」を